

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3、5～8）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置してある焼山監視カメラによる観測では、叫沢源頭部^{さけびざわ}及び湯沼の噴気の高さは 20m 以下で噴気活動は低調な状態となっています。

10 日に実施した現地調査では、叫沢源頭部及び湯沼付近の地表面温度分布¹⁾ に特段の変化は認められませんでした。また、空沼^{からぬま}の地表面温度分布¹⁾ に地熱の高い箇所は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は少ない状況となっています。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 9～10）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

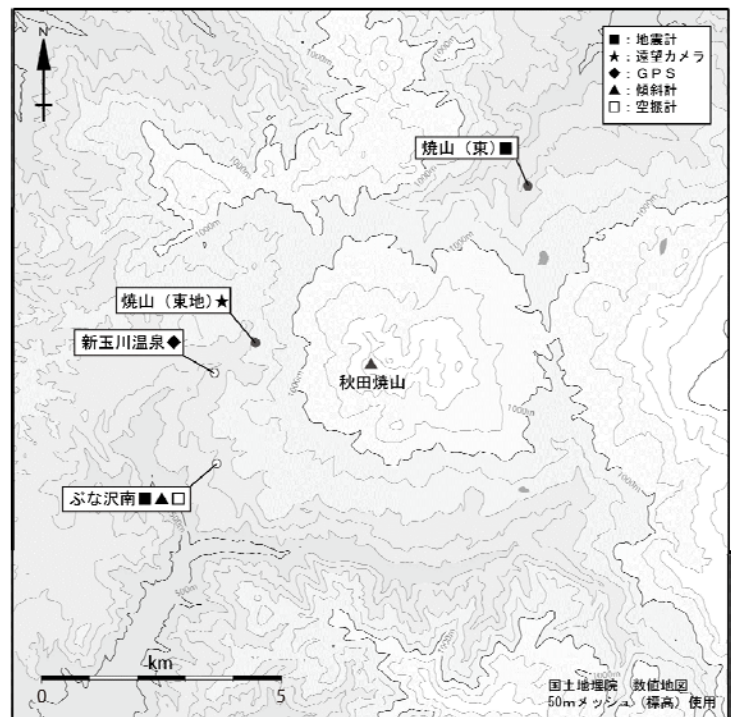


図 1 秋田焼山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東地）：東北地方整備局 （東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 8 月分）は平成 24 年 9 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータその他、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



図 2※ 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状態（7 月 30 日 15 時 00 分頃）
・ 山頂の西約 2 km に設置してある焼山監視カメラ（東北地方整備局）による。

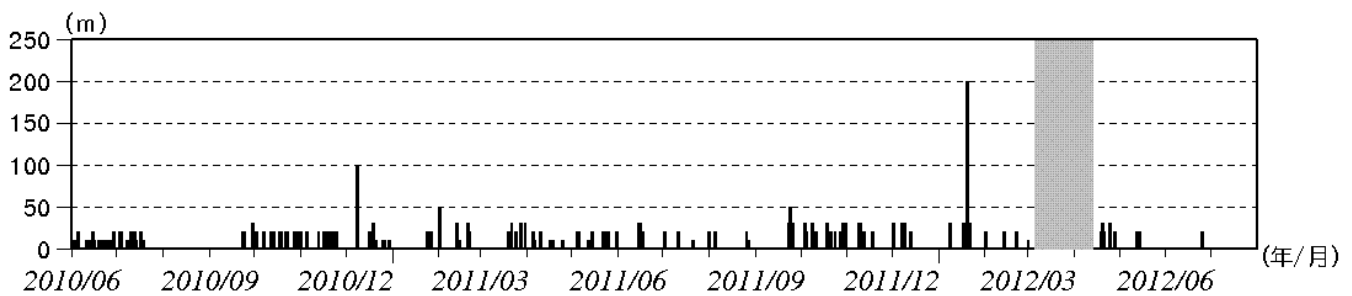


図 3※ 秋田焼山 日別最大噴気の高さ（2010 年 6 月～2012 年 7 月）
・ 2010 年 6 月 1 日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測開始。
・ 2012 年 3 月 6 日～4 月 13 日（図の灰色部分）は機器障害のため欠測となっています。

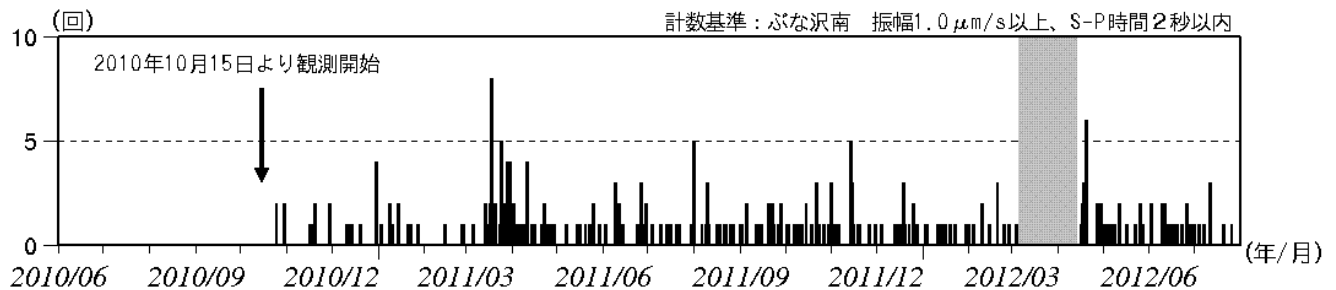


図 4 秋田焼山 火山性地震の日別回数（2010 年 10 月～2012 年 7 月）
・ 2010 年 10 月 15 日から観測開始。
・ 2012 年 3 月 6 日～4 月 13 日（図の灰色部分）は機器障害のため欠測となっています。

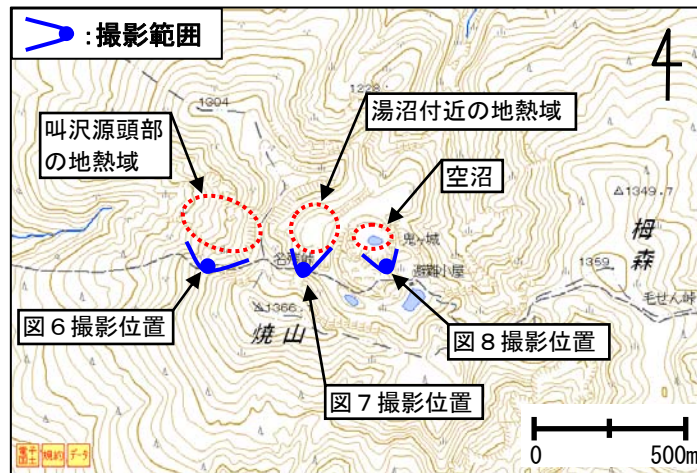


図5 秋田焼山 可視画像と地表面温度分布¹⁾ 撮影位置

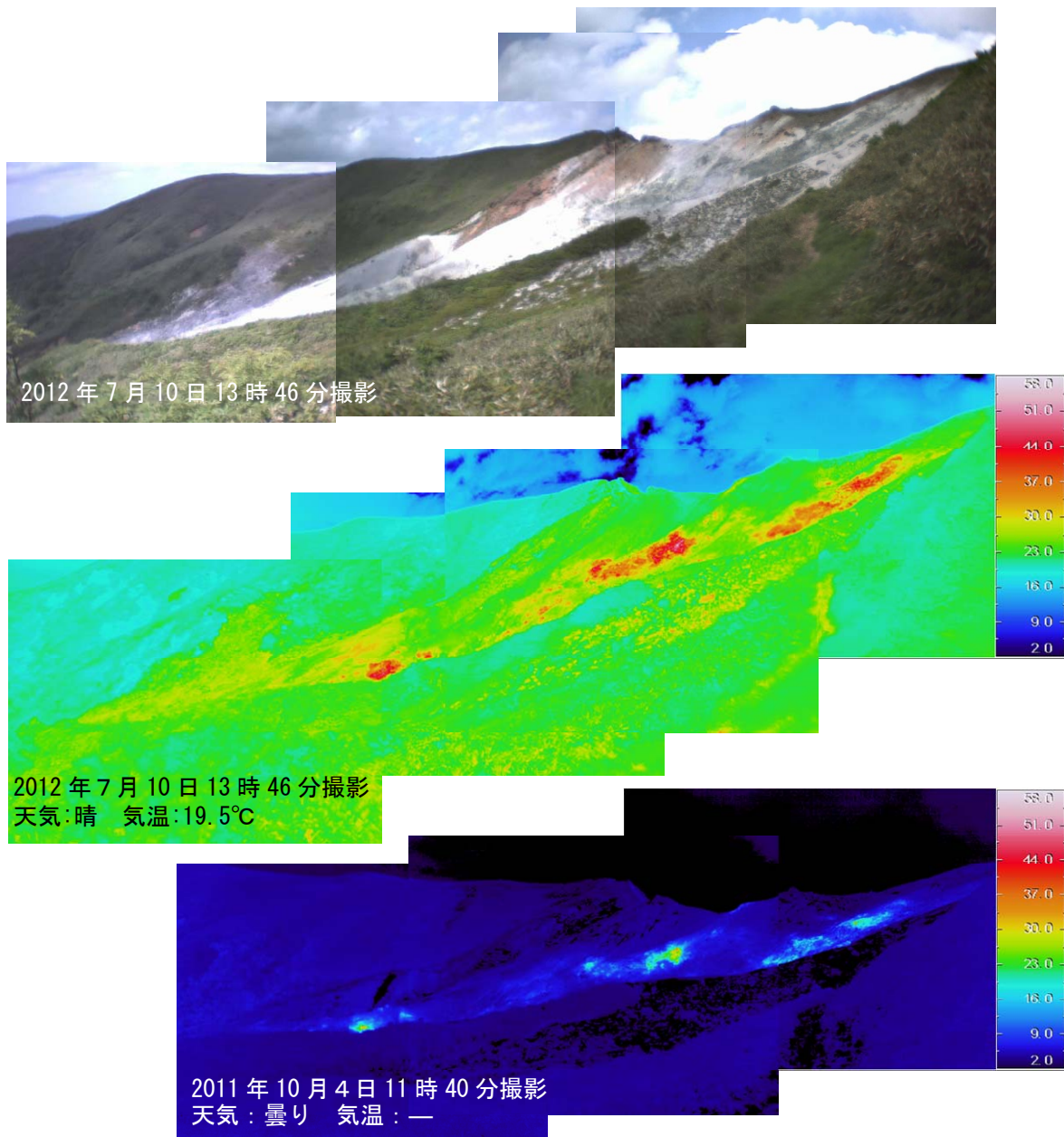


図6 秋田焼山 叫沢源頭部の可視画像（上段）と地表面温度分布¹⁾（中段、下段）
上段、中段：2012 年 7 月 10 日 下段：2011 年 10 月 4 日
地表面温度分布¹⁾ に特段の変化は認められませんでした。

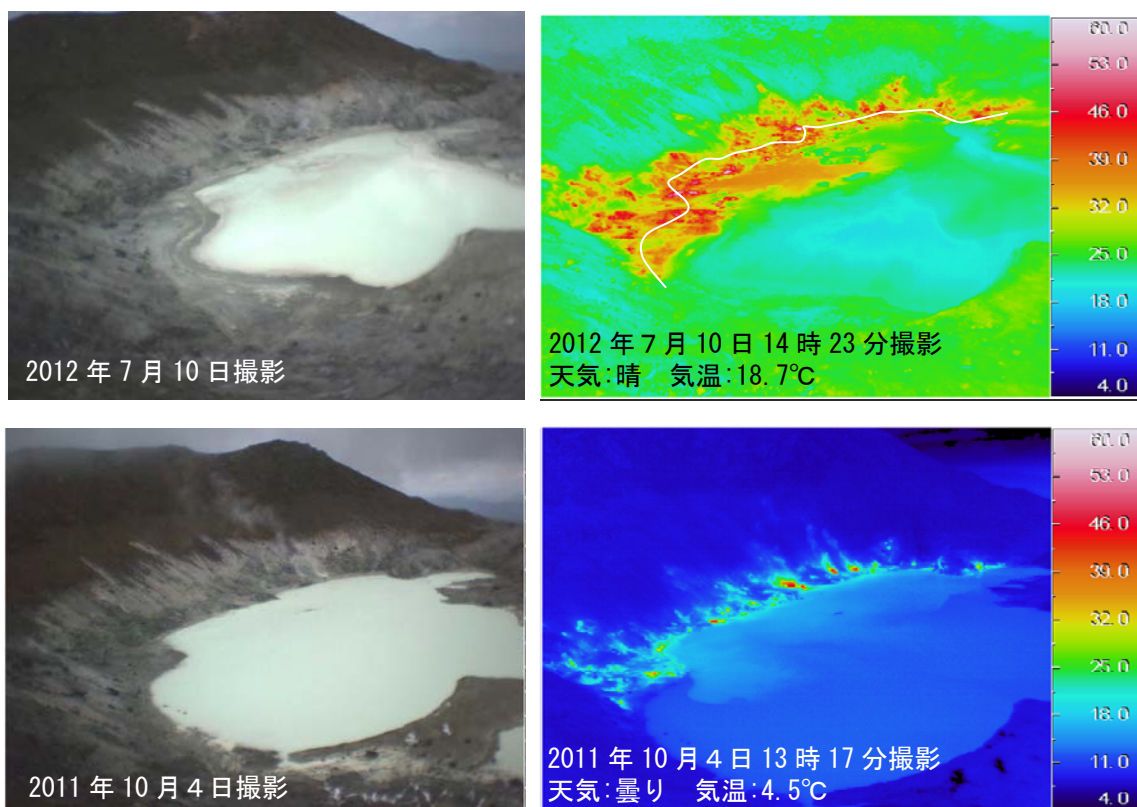


図 7 秋田焼山 湯沼の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

上段：2012 年 7 月 10 日 下段：2011 年 10 月 4 日

- ・上段右図の白線は、2011 年 10 月 4 日の水位を示しています。
- ・水位の低下が確認されましたが、地表面温度分布¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

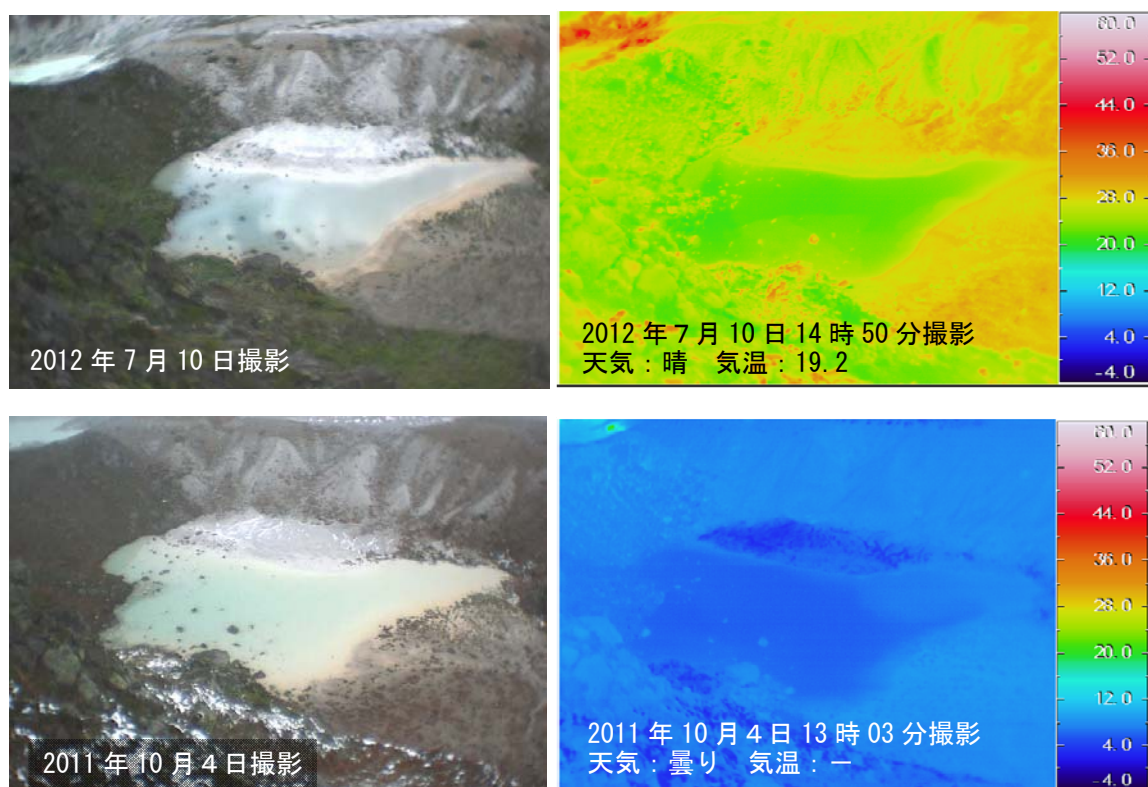


図 8 秋田焼山 空沼の可視画像（左）と地表面温度分布¹⁾（右）

上段：2012 年 7 月 10 日 下段：2011 年 10 月 4 日

地表面温度分布¹⁾に地熱の高い箇所は認められませんでした。

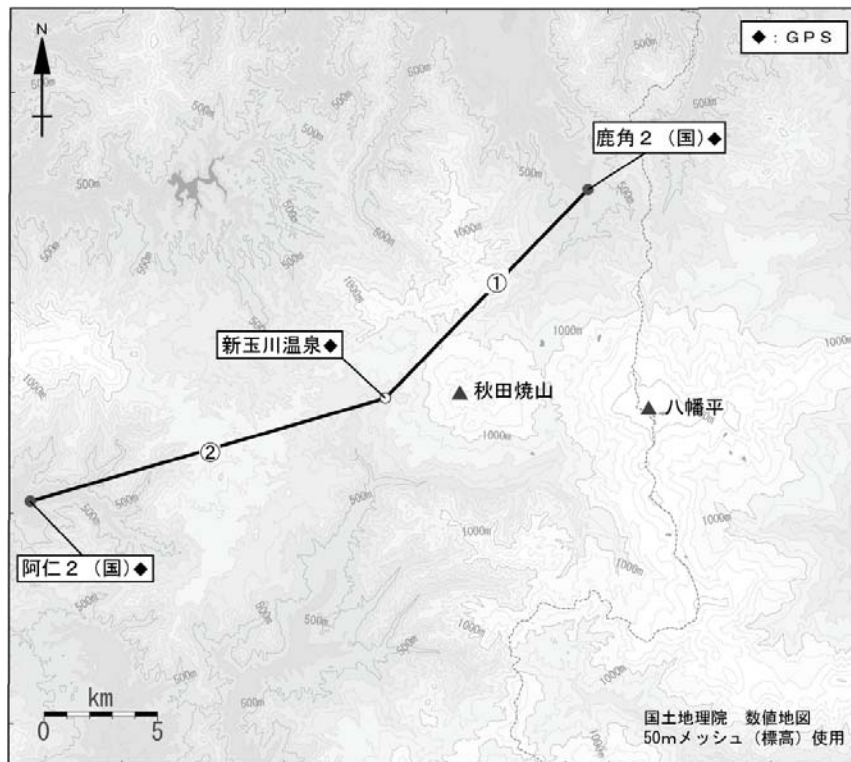


図 9 秋田焼山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。（国）：国土地理院
GPS 基線①～②は図 6 の①～②に対応しています。

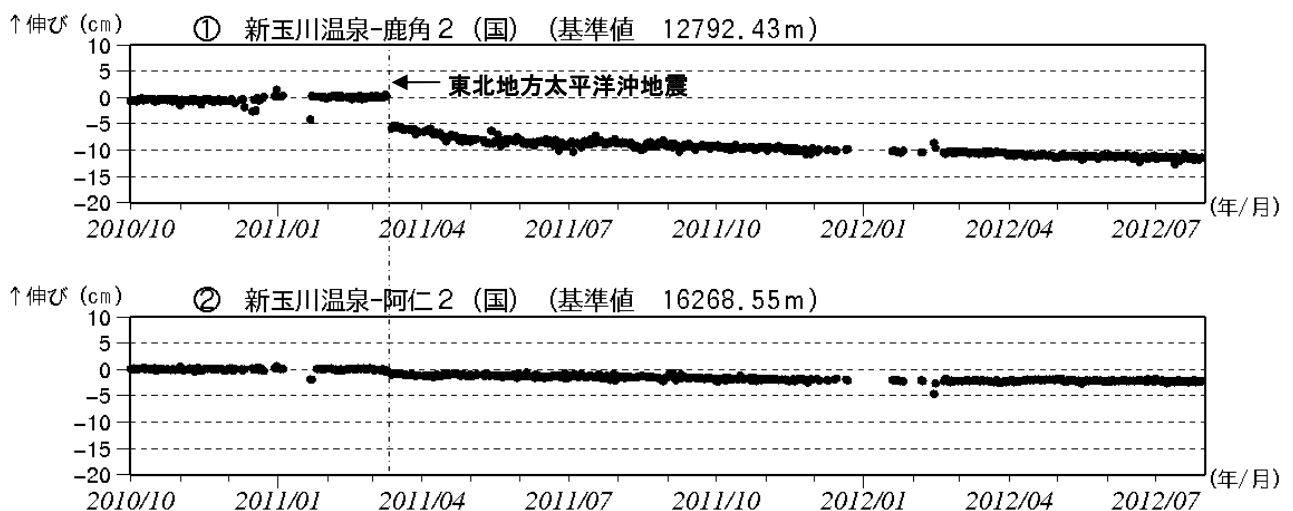


図 10 秋田焼山 GPS 基線長変化図（2010 年 10 月～2012 年 7 月）

- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の縮みの傾向は、東北地方太平洋沖地震による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
- ・ ①～②は図 5 の GPS 基線①～②に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。